第1回会議の開催状況

大分南警察署協議会

第1 開催月日

令和7年6月12日（木）

第2 出席者

公安委員

協議会 委員 11名

警察署 署長、副署長、刑事官、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、
湯布院幹部交番所長、刑事課長、交通課長、警備課長 11名

第3 議事の概要

1 業務推進状況等の説明

警察署から、

- ・業務重点推進状況

について説明がなされた。

2 諮問事項の説明

警察署から令和7年度の諮問事項

- ・自転車総合対策

について説明がなされた。

3 協議会委員（以下「委員」という。）からの意見・要望

(1) 自転車の盗難対策について

委員から「自転車の二重ロックについてだが、鍵を一種類しか持っていないのか、鍵を二種類持っているが、鍵をかけないのか。それによって、対策が変わるのではないか」旨の質問がなされ、警察署から「自転車の盗難被害のうち8割が無施錠である。警察は自転車に鍵をかけることは勿論のこと、二種類の鍵をかける二重ロックを推奨し広報している」旨の説明がなされた。

委員から「鍵を持っていない人を減らすという目的から、自転車販売店に予め鍵を配布し、購入者に配付するという方法はできないか」旨の意見がなされ、警察署から「鍵の配付は、費用もかかり難しい問題であるが、購入者に対しての『鍵かけ広報』は、自転車販売店に依頼し、今後も継続的な広報活動をお願いしたいと考えている」旨の説明がなされた。

委員から「自転車の盗難対策として、被害の多い駅前輪場に支柱のような工作物を増設して、鍵をかけて自転車を止められるような対策をとってはどうか」旨の意見がなされ、警察署から「駅の駐輪場対策として、防犯カメラの設置や自転車利用者に対する鍵かけを促す自動音声装置の設置等を検討してい

る」旨の説明がなされた。

(2) 駅駐輪場の防犯対策について

委員から「駅の駐輪場に防犯カメラは設置されているのか」旨の質問がなされ、警察署から「設置されている駅もあれば設置されていない駅もある」旨の説明がなされた。

委員から「防犯カメラが設置されれば捜査にも活用できるのではないか。また、広報活動の一環として標語を募集するのも有効ではないか」旨の意見がなされた。

(3) 街頭活動について

委員から「登校中に交番勤務員等が街頭で指導している姿をよく見かける。今後も交通事故防止等の観点から、街頭活動を継続してほしい」旨の意見がなされ、警察署から「『見せる。見える。呼びかける。』活動を行っている。今後も各種団体等と協力して街頭活動の強化を図っていく」旨の説明がなされた。

(4) 交通規制等について

委員から「穂田地区の交差点の信号機サイクルが早く、交通事故発生の要因となっているのではないか」旨の質問がなされ、警察署から「調査します」旨の説明がなされた。

委員から「医大近くの道路で、横断歩道や外側線のラインが消えている場所がある」旨の意見がなされ、警察署から「関係機関に連絡のうえ、対応します」旨の説明がなされた。

(5) 諮問事項（自転車総合対策）について

委員から「自転車総合対策について、盗難被害防止と交通事故抑止のどちらを優先して協議するのか」旨の質問がなされ、警察署から「盗難被害防止と交通事故抑止の両対策について検討していただきたい」旨の説明がなされた。